社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 令和05年02月01日

上乙只			<u> </u>										V 1222 1 227	3
計画の名称	24 米子駅周辺	における安全・安心な歩行	空間の創出(防災・安全)	(期)										
計画の期間	令和03年度	~ 令和07年度 (5	年間)									重点配分対象の該当	0	
交付対象	米子市													
計画の目標	JR山陰本線で	分断された米子駅周辺地区	において、南北自由通路及	び駅南広均	場を一体的に整備	すること	とにより、駅へのアク [・]	セス改善による利便性向	り上だ	b、交通結節点として(の機能強化を図り、併せて、	高齢者や障がい者など歩行	者に配慮した	た
	ユニバーサルデ	ザイン化(エレベーター、	視覚障がい者誘導用ブロッ	クなど) マ	を行うことで、安	全・安心	心な歩行空間の創出を	図る。						
	併せて、米子駅	南北自由通路及び駅南広場	整備の事業効果を最大限波	及させるが	ため、既存の駅北	広場の地	歩行者空間の拡大、交流	通ロータリーの再配置な	ょどを	E行い、交通結節点の	強化による利便性の向上を図	ა .		
全体事業費	費(百万円)	合計 (A + B + C + D)	4,809	Α	4,809	В	0 C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C	/ (A + B + C + D)	0	%

	計画の成果目標(定量的指標)							
番号		定量的指標の現況値及び目標値						
田石	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
		令和3年		令和7年				
1	1日あたりの駅利用者数を7,100人から7,900人に増加させる。							
	1日あたりの駅利用者数を計測する。(駅利用者数 = JR利用者 + 自由通路を利用するがJRは利用しない者)	7100人	人	7900人				
	最終目標値7,900人 7,186人(JR利用者見込数(R2):推計人口143,729人×5%) + 719人(自由通路を利用するがJRは利用しない者:7,186人×10%) <5%:人口に対す							
	る駅利用者数の割合(H26実績値)、 10%:JRは利用しないが自由通路のみを通過する者のJR利用者数に対する割合(自由通路を整備した他駅事例より推計)>							
2	歩行者の駅南地区から米子駅までのアクセス時間を4分短縮させる。(現況では米子駅のアクセスは駅の北側からに限られているため、駅南地区の住民は大幅な迂回が必	要となっている。ユニバーサ	トルデザイン化された南北自	由通路・駅南広場を利用す				
	ることで、高齢者や障害者など歩行者が安全に安心して駅を利用でき、アクセス時間も短縮される。)							
	歩行者の駅南地区から米子駅までのアクセス時間を算定する。	13分	分	9分				
	最終目標値4分短縮=(整備後のアクセス時間9分) - (整備前のアクセス時間13分)							
3	1日あたりの駅北広場の歩行者等通行量を2,621人から3,243人に増加させる。							
	1日あたり(10時~17時)の駅北広場の歩行者等通行量を計測する。(歩行者等通行量 = 歩行者通行量 + 自転車通行量)	2621人	人	3243人				
	最終目標値3,243人 2,621人+360人(自由通路の供用開始に伴い駅北広場で増加する通行量:719人×50%)+262人(駅北広場の供用開始に伴い増加する通行量:2,621							
	人×10%) <50%:自由通路の供用開始に伴い駅北広場で増加する通行量の割合、10%:駅北広場の供用開始に伴い増加する通行量の割合>							

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	0	避難行動要支援者名簿の提供	0
・1日あたりの駅利用者数:現況値7,	100人(H26年度実績値)	・歩	行者の駅南地区から米 ⁻	子駅	⊧でのアクセス時間 ∶∃	見況(值13.0分(H27年度算定値	i) •	1日あたり(10時~17時	ŧ) ወ	駅北広場の歩行者等通	行量	: 現況値2,621人(R3年	度実	- 績値より推計)	

A 基幹事業		•		,	,		•				,							,	
		事業	地域	交付	直接	事業者	番別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内	9容	市区町村名/			期間(年月		全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	尹 耒白	【里力」(性力 4	(事業箇所)	(延長・面	ā積等)	港湾・地区名	R03 R	₹04 F	R05 R06	R07	(百万円)	便益比	策定状況
			実施す	ることにと	より期待	される効果													
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	米子市	直接	米子市	S街路	改築	米子駅南北自由通路(自	自由通路整備 L	L=0.1km	米子市					3,289		Ţ-
									由通路)										
	A01-002	4 街路	一般	米子市	直接	米子市	S街路	改築	米子駅目久美町線(駅南	駅南広場整備	A=0.5ha	米子市	\prod	\top			446		-
									広場)										
1	A01-003	掛路	一般	米子市	直接	米子市	S街路	改築	米子駅境線(駅北広場)	駅北広場整備 A	A=0.9ha	米子市		\top			1,074		-
									1										
												·							
1												小計					4,809	<u></u>	
				$\overline{\mathbf{I}}$			$\overline{}$	\top	T			合計	\top	$\overline{}$			4,809		
			\top	\top	\top	T	\top	T		\top		\top	TT	\top					T
									.1							—			
																	т		

1

案件番号: 0000457698

事前評価チェックシート

計画の名称: 24 米子駅周辺における安全・安心な歩行空間の創出(防災・安全)(期)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	0
1. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合性が確保されている。	
目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 目標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	
II. 計画の効果・効率性	0
十分な事業効果が発揮される。	0
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
	0
III.計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	0

案件番号:0000457698

						(牛伍:口刀)
		R3	R4	R5	R6	R7
	配分額(a)	867	913	379		
計	画別流用増△減額(b)	0	0			
	交付額(c=a+b)	867	913			
前年度からの繰越額(d)		647	682	865		
	支払済額(e)	832	730			
_	翌年度繰越額(f)	682	865			
	うち未契約繰越額 (g)	524	346			
7	不用額(h = c+d-e-f)		0			
未契約繰越+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%		34.6%	21. 7%			
未契約繰越	+不用率が10%を超えている場合 その理由	想定と異なる地盤 状況への対応によ り、工事が遅延し たため	関連工事の遅延に より、相互の工程 調整が必要となる 本工事も遅延した ため			